

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2004028			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	房総横断鉄道活性化事業			事業期間	平成17年度～		
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部		
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	<input type="checkbox"/>	法定受託事務	課・係	交通政策課 交通政策係
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	<input type="radio"/>	環境	作成担当者	
根拠法令等	房総横断鉄道活性化協議会設置要綱						
実施の背景	近年の経済情勢やモータリゼーションの進行により各地のローカル鉄道が衰退しており、市原市を縦断する小湊鉄道も乗客数は年々減少しています。観光資源としての活用及び地域の生活交通を確保するためにも、小湊鉄道を活性化させる必要があります。						
目的 (何をどうしたいのか)	小湊鉄道及びいすみ鉄道並びにその沿線の活性化を図るため、両鉄道及び沿線市町などが連携して、観光のPRや各種イベントを実施し、両鉄道の利用者及び観光需要の増加を目指すもの。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	観光客・鉄道利用者				対象者数（全住民に対する割合）	
						人	(%)
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先又は指定管理者					
		補助金(直接)	<input type="checkbox"/>	補助金(間接)	<input type="checkbox"/>	補助先	実施主体
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先			
その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容					
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）							
<p>国や県、小湊鉄道、いすみ鉄道及び沿線自治体等で組織する「房総横断鉄道活性化協議会」では、毎年様々な取り組みの提案・協議を行い、各種イベントが実施されています。</p> <p>【令和3年度事業内容】</p> <p>①房総横断鉄道絵画コンクール いすみ鉄道の沿線自治体の小中学生を対象に、ポスターコンクールを実施しました。（小湊鉄道は新型コロナウイルスの影響により実施しませんでした。） 房総横断鉄道活性化協議会では、ポスターコンクールへ出展していただいた方に対して缶バッジを作成し、記念品として贈呈しています。</p> <p>②鉄道博物館での観光PR 大宮市にある鉄道博物館にて、沿線自治体への観光PRを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により実施を取りやめました。</p>							
関連事業 (同一目的事業等)	花プロジェクト事業（市原市経済部 小湊鉄道沿線に菜の花の種を蒔く事業）						

事業シート（概要説明書）

事業シート（概要説明書）										
主な予算事業名		房総横断鉄道活性化事業費								
会計・科目		会計 一般会計		款 8 土木費		項 5 都市計画費		目 1 都市計画総務費		
〔単位：千円〕		令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）		
コスト	合計	35		35		35		35		
	内訳	負担金補助及び交付金	35		35		35		35	
	人件費	合計	0.1 人	750	0.1 人	750	0.2 人	1,500	0.1 人	750
	正職員	0.1 人	750	0.1 人	750	0.2 人	1,500	0.1 人	750	
	会計年度任用職員等	人		人		人		人		
	総事業費	785		785		1,535		785		
財源内訳	合計	785		785		1,535		785		
	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	その他特財の内容								
	一般財源	785		785		1,535		785		
事業実績及び成果	事業実績	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		① イベント実施回数				回	0 /	0	1	
		② 協議会等の開催				回	2 /	2	3	
		③ 缶バッジ配布数				個	300 /	250	2347	
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円			785		
	事業成果	小湊鉄道の乗車数				人/日	2,295 /	2350	3003	
		房総横断鉄道乗車券販売枚数				枚	12,837 / 20,990	8,997/20,990	14592	
事業成果設定理由等	両鉄道の利用状況が沿線の活性化に寄与するため。									
総合計画指標	実績指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		房総横断鉄道乗車券販売枚数				回	12,837 / 20,990	8,997/20,990	14592	
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鉄道利用客数(1日フリー乗車券、房総横断鉄道乗車券、観光列車乗車人数の合計)				万人	4.8 / 8	3.6/8.0	4.3/8.0	
						/	/	/		
						/	/	/		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	少子高齢化やモータリゼーションの進展により、生活交通としての小湊鉄道の利用者は減少傾向にあります。しかしながら、小湊鉄道は地域住民の生活に欠かせない移動手段であるため、小湊鉄道及び沿線地域の活性化のためにも、引き続き協議会として、関係者と連携した利用促進施策を継続し、小湊鉄道の存続を図る必要があります。									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)										
特記事項										

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009029			

事業シート（概要説明書）					
事務事業名	水と彫刻の丘管理運営事業			事業期間 平成10年度以前 ~	
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部 地方創生部	
事務区分	自主的自治事務 <input type="radio"/>	義務的自治事務 <input type="checkbox"/>	法定受託事務 <input type="checkbox"/>	課・係 観光・国際交流課 観光企画係	
SDGsの区分	経済 <input type="radio"/>	社会 <input type="checkbox"/>	環境 <input type="checkbox"/>	作成担当者	
根拠法令等	市原市水と彫刻の丘の設置及び管理に関する条例、同条例施行規則				
実施の背景	平成2年に高滝ダムが完成し高滝湖周辺が観光地となったことから、平成7年に文化性とレクリエーション機能を併せ持つ施設として、市原市水と彫刻の丘が開館しました。平成25年の市原鶴舞インターチェンジ開通に伴い、首都圏からの観光客が増えることを見据えて、南市原の観光施設の充実とその拠点となるために改修を行いました。 平成25年8月にリニューアルオープンし、平成26年には芸術祭の中核施設として多くの来訪者を迎えました。				
目的 (何をどうしたいのか)	企画展や常設展、体験型のワークショップやイベントを開催し、来訪者の方が芸術文化に触れる機会を多くします。 また、美術館は南市原の観光の中核施設であることから、他施設等と連携し観光案内を行い、来訪者の滞留時間を増やすことで、地域経済の活性化に結び付けます。				
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	入館者		対象者数（全住民に対する割合） 271,159 人 (%)	
	実施方法	直接実施 <input type="checkbox"/>	業務委託 <input type="checkbox"/>	指定管理 <input type="radio"/>	
		委託先又は指定管理者			(株) アートフロントギャラリー
		補助金(直接) <input type="checkbox"/>	補助金(間接) <input type="checkbox"/>	補助先	実施主体
		貸付 <input type="checkbox"/>	貸付先		
		その他 <input type="checkbox"/>	その他の内容		
	令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）				
	芸術に親しみをもてるよう企画展や常設展を開催します。また来訪者に、楽しい時間を過ごしてもらうために、体験型のワークショップやイベントを開催します。 水と彫刻の丘の管理運営を行います。				
	【主な管理業務と委託先】 ・AED管理、自家用電気工作物保安管理業務委託、空調機点検、防火設備定期点検、第3駐車場除草作業 ・美術館指定管理業務：アートフロントギャラリー				
	関連事業 (同一目的事業等)				

事業シート（概要説明書）

事業シート（概要説明書）										
主な予算事業名		水と彫刻の丘費								
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費		
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		
コスト (人件費除く)	合計	69,111		70,079		67,999		70,034		
	内訳	委託料	58,855		60,613		60,095		61,826	
		需用費	7,839		8,805		6,288		7,537	
		工事請負費	2,000		使用料及び賃借料	381		使用料及び賃借料	380	
		使用料及び賃借料	381		備品購入費	275		備品購入費	1,233	
		旅費	36		旅費	5		旅費	3	
	合計	0.1人 750		0.1人 750		0.1人 750		0.1人 750		
	正職員	0.1人 750		0.1人 750		0.1人 750		0.1人 750		
	会計年度任用職員等	人		人		人		人		
	総事業費	69,861		70,829		68,749		70,784		
財源内訳	合計	69,861		70,829		68,749		70,784		
	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	1,517		1,519		1,416		1,485		
	一般財源	68,344		69,310		67,333		69,299		
事業実績及び成果	事業実績	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		① 企画展開催日数			日	248 /	166	231		
		② 美術鑑賞教室(小学校)			校	/	2	4		
		③ イベント、講座等開催回数			回	34 /	10	18		
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円	286	473	319		
	事業成果	入館者数			人	32,740 / 20,000	16,587/22,000	17,353/22,000		
									/	/
事業成果設定理由等										
総合計画指標	実績指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		入館者数			人	32,740 / 20,000	16,587/22,000	17,353/22,000		
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鐵道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
		ゴルフ場利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>入館者数の増加を図るために、幅広い年齢層が魅力を感じられる企画展やイベントを開催していきます。</p> <p>学校教育と連携することで美術館の教育資源をさらに活用できるよう、美術への興味・関心を深めるプログラムを提供する等、働きかけを行っていきます。</p> <p>Twitterの活用などSNSを積極的に使った情報発信を行うことで、若年層の関心を集める工夫を凝らすなど、新たな入館者層の開拓につなげます。</p> <p>美術館の立地を考慮しシャトルバスの増便について検討し、利便性の向上につなげます。</p>								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>千葉市美術館 指定管理者（市が設置する財団法人） 入館者数116,618人（平成30年度） 延床面積 11,943.38㎡</p> <p>平塚市美術館 市直営 入館者数169,594人（平成30年度） 延床面積 7,181.39㎡ (市原市湖畔美術館 延床面積 1,799.11㎡)</p>								
特記事項										

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009030			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	広域等観光連携推進事業			事業期間	平成19年度～	
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部	
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 観光振興係	
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成担当者	
根拠法令等	中房総観光推進ネットワーク協議会規約					
実施の背景	平成20年2月、広域連携を図り観光振興を推進するため、「中房総観光推進ネットワーク協議会」を設立しました。 中房総エリアは、春は菜の花や桜、夏は海水浴、秋は紅葉、冬は温泉など四季を通して楽しめます。また、花火大会やお祭りなどのイベントや郷土料理などの食べ物も豊富です。このため、観光客が季節を問わず楽しむことができる『周年型の観光地づくり』を実現するために中房総地域が一体となり観光客の誘致に取り組みます。					
目的 (何をどうしたいのか)	協議会は、広域的な連携のもと、参加自治体のもつ特色ある景観やレジャー施設、イベント及び食等の観光資源を活性化させることはもとより、エリアとしての観光地ブランドの確立と地域経済の振興を図ることを目的としています。現在は、合同でのPRキャンペーンや周知イベントを実施し中房総エリアの認知度向上を実施しています。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内及び市外の住民			対象者数（全住民に対する割合） 271,159 人 (%)	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	指定管理	
		委託先又は指定管理者				
		補助金(直接)		補助金(間接)	補助先	実施主体 中房総観光推進ネットワーク協議会
		貸付		貸付先		
		その他	<input type="radio"/>	その他の内容 負担金供出及び事務局運営		
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）						
<p>中房総観光推進ネットワーク協議会は市原市長を会長として、圏央道の市原鶴舞10に関連する自治体で構成された広域観光ネットワークです。事務局は市原市観光振興課が担っており各自治体との調整及び会議の主催、事業の運営など行っております。</p> <p>【経緯】 平成20年2月13日、市域を越え、自治体が連携して広域的な取り組みを行うことで、効果的な観光振興や交流人口の拡大を図るために、茂原市、長柄町、長南町、大多喜町、いすみ市、御宿町、勝浦市、鴨川市、市原市の5市4町が集まり、「中房総観光推進ネットワーク協議会」を設立しました。 平成22年度をもって、鴨川市が退会し、4市4町となりました。 平成23年8月4日の首長会議において、一宮町及び睦沢町が新規加盟し、現在の4市6町となりました。</p> <p>【主な事業】※令和3年 1 PRイベントの実施 中房総エリアへの誘客や認知度向上を目的としてPRイベントを実施しています。令和3年度は令和4年2月に1回実施しました。 2 例年、各自治体のイベントへのPR出展 協議会加盟自治体の連携の一環として、各自治体が主催するイベントへのPR出展を実施しています。（上総いちほら国府祭りや勝浦ビッグひな祭りへの出展） 令和3年度は各自治体主催のイベントが中止となったため、実施できませんでした。 3 パンフレットの配布 中房総エリアを集約したパンフレットを作成し、PRイベントや加盟自治体の観光施設等で配布しています。令和3年度は、パンフレットの更新を行いました。</p> <p>【主な収入】 加盟自治体からの負担金収入 460千円（内市原市172千円）</p>						
関連事業 (同一目的事業等)						

事業シート（概要説明書）

事業シート（概要説明書）											
主な予算事業名		広域等連携観光推進事業									
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費			
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)			
コスト (人件費除く)	合計	3,250		172		171		171			
	内訳	普通旅費	177		事務費負担金 172		事務費負担金 171		事務費負担金 171		
		事務費負担金	1,117								
		事業費負担金	1,656								
		事業費補助金	300								
	合計	0.7人	5,250	0.2人	1,500	0.2人	1,500	0.2人	1,500		
正職員	0.7人	5,250	0.2人	1,500	0.2人	1,500	0.2人	1,500			
会計年度任用職員等	人		人		人		人				
総事業費	8,500		1,672		1,671		1,671				
財源内訳	合計	8,500		1,672		1,671		1,671			
	国県支出金	国県支出金の内容									
	地方債										
	その他特財	100		その他特財の内容							
	一般財源	8,400		1,672		1,671		1,671			
事業実績及び成果	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度				
	事業実績	① 会議の開催		回	5 / 5	5/5	5/5				
		② PRイベントの実施回数		回	1 /	0	2				
		③ パンフレット配布部数		部	5,300 /	9200	6900				
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円	335	334	334			
	事業成果	中房総エリアに観光に訪れたいと答えた方の比率(PRイベントでのアンケート調査)			%	0 / 0	0/0	71/100			
事業成果設定理由等			中房総エリアの認知度を図るためPRイベント等でアンケートを実施しました。								
総合計画指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度				
	実績指標	PRイベントの実施回数			回	1 /	0	2			
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鐵道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8			
ゴルフ利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180					
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	協議会開設当時、市原を含む加盟自治体のエリアには「南房総」のような県外向けの通称がなかった中で、「中房総」という新たな名称の普及を行ってきました。現在では、県内の観光情報誌である「月刊ぐるっと千葉」などでもエリア名称で使用されるなど、認知度は向上していると考えられます。令和2年度及び令和3年度は、コロナの状況下及びコロナ収束後の観光施策を検討し、令和4年度以降に実施することとなりました。今後も、「南房総」と同様に加盟自治体のエリアが並び称されるようブランド化に努めていきます。なお、令和4年度予算は観光プロモーション事業から他市との連携事業費等を付け替えております。										
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	近隣の広域観光ネットワークの状況 千葉ベイエリア観光連盟 浦安市・市川市・船橋市・習志野市・千葉市・市原市 アクアラインイースト観光連盟 袖ヶ浦市・木更津市・君津市・富津市 南房総観光連盟 鋸南町・南房総市・館山市・鴨川市 長生地域観光連盟 茂原市・一宮町・睦沢町・長生村・白子町・長柄町・長南町										
特記事項											

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009031	Ⅲ(1)18		

事業シート（概要説明書）

事務事業名	市原版DMO推進事業			事業期間	令和2年度～		
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部		
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係	観光・国際交流課 DMO推進係	
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成担当者		
根拠法令等	市原市観光振興ビジョン						
実施の背景	多くの人に本市へ観光に訪れてもらうためには、地域の多様な関係者が連携し、地域に息づく暮らし、自然、歴史、文化等に係る地域の幅広い資源を最大限に活用していくことが必要です。こうした中、観光庁では、地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの舵取り役となる観光地域づくり法人（DMO）を登録し、支援する制度を整備しました。本市においても、地域特性を生かした地域一体の魅力的なまちづくりを進め、地域経済の活性化を図るため、（一社）市原市観光協会をDMOとして確立を目指しています。						
目的 (何をどうしたいのか)	一般社団法人市原市観光協会をDMOとして確立することで、舵取り役として市内の観光関連事業者のほか、一次産業・二次産業などを含む多様な団体・事業者の連携を促進し、地域の特性を活用した「稼げる地域」・魅力的な「観光まちづくり」を推進することで、地域全体の経済の活性化を図ります。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民・市内事業者（市内観光施設等）・各種団体・観光客			対象者数（全住民に対する割合）		
					271,159 人	(100 %)	
	実施方法	直接実施	<input type="checkbox"/>	業務委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先又は指定管理者					
		補助金(直接)	<input type="radio"/>	補助金(間接)	<input type="checkbox"/>	補助先	実施主体
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先			
その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容					
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）							
<p>①市原版DMO推進事業補助金（事業費） 17,046,729円（決算額） （一社）市原市観光協会が実施する以下の事業に対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ誘客事業（冬季誘客） ・スポーツ合宿・大会誘致事業（スポーツ施設・宿泊施設の一元管理化等） ・アート×ミックス2020+関連事業（ハラルインバウンドツアー、星空観賞ツアー） ・インバウンド対策事業（ムスリム対応施設・店舗の増設等） ・チバニアンガイド支援事業（ガイド研修、ガイド用備品の整備等） ・誘客事業（着地型観光ツアー）（観光施設への魅力アップ提案等） ・観光資源の発掘及び支援事業（特産品の開発支援等） ・サイクル関係連携事業（地域おこし協力隊と連携によるサイクリングイベント実施等） ・里山・農業支援対策事業（石上菜の花畑の支援、農業関連新規事業支援等） ・「クオードの森」指定管理連携事業（イルミネーション設置支援等） ・観光庁報告調査事業 <p>②市原版DMO推進事業補助金（運営費） 17,076,000円（決算額） 事業実施に必要な（一社）市原市観光協会の専務理事・事務局長の人件費及び旅費交通費に対する補助</p>							
関連事業 (同一目的事業等)							

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名 市原版DMO推進事業費										
会計・科目		会計 一般会計			款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費	
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)			令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)	
コスト (人件費除く)	合計		37,500		34,123		41,653		0	
	内訳	負担金補助及び交付金		37,500		34,123		41,653		
人件費	合計		0.7人 5,250		0.7人 5,250		0.7人 5,250		0人 0	
	正職員		0.7人 5,250		0.7人 5,250		0.7人 5,250		人 0	
	会計年度任用職員等		人		人		人		人	
総事業費		42,750		39,373		46,903		0		
財源内訳	合計		42,750		39,373		46,903		0	
	国県支税金	17,788		17,388		7,746				
		国県支税金の内容		地方創生推進交付金						
	地方債									
	その他特財	750		750		10,000				
その他特財の内容		観光まちづくり基金繰入金								
一般財源		24,212		21,235		29,157				
事業実績及び成果	【指標名】（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	事業実績	① 観光まちづくりに取り組む事業数			本	12 / 12	12/	/		
		②				/	/	/		
		③				/	/	/		
	単位当たりコスト	総事業費 / ①			千円	3,281	3,908			
	事業成果	登録DMOへの登録			団体	0 / 1	0/1	0/1		
				/	/	/				
事業成果設定理由等	候補DMOから登録DMOとなるのに、必須KPI（旅行消費額・延べ宿泊者数等）の達成やそのプロセスが必要であるため。									
総合計画指標	【指標名】（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	実績指標		関係団体等の会議数		回	9 /	1/	3/2		
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鐵道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
		ゴルフ利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180		
					/	/	/			
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>新型コロナウイルス感染症により、訪日外国人観光客が見込めない状況や緊急事態宣言等による観光客の移動制限などにより各事業の見直しを要し、登録DMOへの3カ年の第1・2年度としては難しい状況となりました。</p> <p>今後も訪日外国人観光客の動向が不透明であることから、在日外国人（特にムスリム）向けの事業展開を図る等、本市の観光を取り巻く状況に柔軟に対応しながら12本の事業を推進し、令和4年度中に観光地域づくり法人（登録DMO）としての登録を目指します。</p>								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>○千葉県登録状況（県内5番目の候補DMOとして登録）</p> <ul style="list-style-type: none"> 候補DMO：銚子市観光協会、木更津市観光協会、市原市観光協会、流山ツーリズムデザイン、南房総市観光協会、ツーリズムいすみ 登録DMO：勝浦市観光協会、鴨川観光プラットフォーム、わくわくカンパニー大多喜 								
特記事項										

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009032			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	インバウンド対策事業			事業期間	令和元年度～	
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部	
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 観光振興係	
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成担当者	
根拠法令等						
実施の背景	<p>本市では、養老渓谷や田淵地磁気逆転地層など、市の観光スポットの魅力を伝えるためのガイド育成に取り組んでいる。また、訪日外国人旅行者（インバウンド）が年間3千万人を超える現在、増加する外国からの旅行者を接遇するため、観光の担い手に一定の知識やスキルの習得することが急務となっています。</p> <p>そこで、インバウンドガイドの育成を支援する団体として設立されたインバウンドガイド協会に令和元年10月から加入し、インバウンド対策事業を開始しました。</p>					
目的 (何をどうしたいのか)	インバウンドガイド講座の開催や、協会会員との交流を通じ、インバウンド対策の必要性について、市内事業者と情報共有を図ります。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内観光関連事業者及び市内外のガイド従事希望者			対象者数（全住民に対する割合） 人（ 100 % ）	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	指定管理	
		委託先又は指定管理者				
		補助金（直接）		補助金（間接）	補助先	一般社団法人市原市観光協会 実施主体 市原市
		貸付		貸付先		
		その他	<input type="radio"/>	その他の内容 負担金及び補助金		
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）						
<p>令和元年10月からインバウンドガイド協会に加入（加入金100千円）し、インバウンドガイド講座の開催に向け、同協会に加入している千葉県いすみ市が11月開催した「インバウンドガイド講座inいすみ市」の視察を行いました。</p> <p>令和2年3月に「インバウンドガイド講座in市原市」を開催することとし、参加者募集や近隣市町村を招待したところでしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止の観点から中止することとなりました（インバウンド協会に対しては講座開催委託料の一部を支払い）。</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、インバウンドガイド講座の開催が困難であるため、予算化を見送っております。</p>						
関連事業 (同一目的事業等)						

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名		観光プロモーション事業費							
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費	
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)	
コスト (人件費除く)	合計	0		0		0		133	
	内訳			0				委託料	33
								負担金補助及び交付金	100
	合計	0.1 人	750	0.1 人	750	0.1 人	750	0.1 人	750
人件費	正職員	0.1 人	750	0.1 人	750	0.1 人	750	0.1 人	750
	会計年度任用職員等	人		人		人		人	
総事業費		750		750		750		883	
財源 内訳	合計	750		750		750		883	
	国県支出金	0		0		0		0	
		国県支出金の内容							
	地方債	0		0		0		0	
	その他特財	0		0		0		0	
その他特財の内容									
一般財源		750		750		750		883	
事業 実績 及び 成果	事業実績	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
		① 講習会開催回数			回	0 / 0	0/0	0/1	
		②				/	/	/	
		③				/	/	/	
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円		0		
	事業成果	講習会受講者数			人	0 / 0	0/	/	
					/	/	/		
事業成果設定理由等	インバウンド受入れ体制を整備し、将来的なインバウンド増加を目指すため。								
総合 計画 指標	実績指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
		講習会開催回数			回	0 / 0	0/0	0/1	
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鐵道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8	
		ゴルフ利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180	
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	新型コロナウイルス感染症は、観光業界に多大なる影響を及ぼし、特にインバウンド需要の影響は大きく、令和2年の我が国の訪日外国旅行者数は、令和元年比で87.1%減少しています。このため、感染拡大状況に留意しつつ、講座の開催時期や開催方法の検討を行うとともに、感染症収束後を見据え、計画的にインバウンド対策事業に取り組んでいきます。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	【いすみ市】 インバウンドガイド講座inいすみ市 日時：令和元年11月27日（水）午前9時から午後17時まで 参加者数：32名 内容：座学講義及びフィールドワーク（ガイドに挑戦）								
特記事項									

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009033			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	ゴルフの街いちはら事業			事業期間	平成28年度～	
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部	
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 DMO 推進係	
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成 担当者	
根拠法令等						
実施の背景	市内には日本一の数を誇る全33箇所のゴルフ場があり、観光入込客数の約半数を占める年間168万人の利用があることから、本市の観光誘客の大きな柱の一つとなっています。 一方で、全国的なゴルファー数は減少傾向にあることから、ゴルフを通じた観光振興・経済振興の観点からは、本市のゴルフ場を積極的に利用してもらうための取組や新たなゴルファーの育成が必要な状況です。					
目的 (何をどうしたいのか)	ゴルファーの市内ゴルフ場への誘客と新たなゴルファーの育成に取り組むゴルフ関係団体等に補助金を交付し、ゴルフ場利用客を積極的に集客することで観光振興につなげるとともに、ゴルフ人口拡大による長期的な経済振興につなげます。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	ゴルフ場利用客・ゴルフ未経験者・就職希望の高校3年生・ゴルフ場			対象者数（全住民に対する割合） 人（ % ）	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	指定管理	
		委託先又は指定管理者				
		補助金（直接）	<input type="radio"/>	補助金（間接）	補助先	実施主体
		貸付		貸付先		
その他		その他の内容				
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）						
<p>①ゴルフ場巡り33賞品発送委託料 市内33カ所の参加ゴルフ場でプレーしてスタンプを集めるスタンプラリー。5か所、11か所、22か所、33か所を達成した参加者に賞品を提供します。</p> <p>②ゴルファー・ジュニア育成補助金 ・手ぶらdeゴルフ（一般10回開催・小学校12校実施） ゴルフ未経験者を対象にコースでのプレー体験などのレッスンを実施します。 ・中学生職場体験 1校実施 ・お仕事見学ゴルフ体験（高校3年生）4回実施 ・市原高校1年生ゴルフ体験 4回実施 ・イベント保険</p> <p>③諸経費 ・手ぶらdeゴルフ用小冊子印刷 ・パナソニックオープンレディースゴルフトーナメント賞品代</p>						
関連事業 (同一目的事業等)						

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名										ゴルフの街いちはら事業費									
会計・科目		会計 一般会計				款 7 商工費				項 1 商工費				目 4 観光費					
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)				令和3年度(決算)				令和2年度(決算)				令和元年度(決算)					
コスト	合計		47,045				33,176				37,090				39,159				
	事業費 (人件費除く)	内訳		負担金補助及び交付金 38,513				負担金補助及び交付金 33,000				負担金補助及び交付金 36,990				負担金補助及び交付金 1,000			
				報償費 3,600				報償費 76				需用費 100				報償費 73			
				需用費 332				需用費 100								需用費 557			
				委託料 4,600												委託料 37,529			
人件費	合計		1.5 人		11,250		1.6 人		7,703		1.6 人		7,354		0.6 人		4,500		
	正職員		1.5 人		11,250		0.6 人		4,500		0.6 人		4,500		0.6 人		4,500		
	会計年度任用職員等		人				1 人		3,203		1 人		2,854		人				
総事業費			58,295				40,879				44,444				43,659				
財源内訳	合計		58,295				40,879				44,444				43,659				
	国県支出金		550				550												
	地方債																		
	その他特財		5,000																
	一般財源		52,745				40,329				44,444				43,659				
事業実績及び成果	事業実績		【指標名】（実績値/目標値）					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度								
			① いちはらゴルフ場巡り33達成者数	人	6,759 /	7409/	7,488/2,000												
			② 手ぶらdeゴルフ(一般)参加者数	人	93 /	78/	48/												
			③ 手ぶらdeゴルフ(小学生)参加者数	人	359 /	370/	301/												
	単位当たりコスト		総事業費 / ①					千円	6	6	5								
事業成果		ゴルフ場利用者数					万人	168 / 180	154/180	167/180									
事業成果設定理由等		ゴルフ場への誘客プロモーションやゴルファー育成の結果としてゴルフ場利用客が増加することで、ゴルフを通じた観光振興と地域経済への波及効果が見込めるため。																	
総合計画指標	実績指標		【指標名】（実績値/目標値）					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度								
	成果指標 主に関係する 施策の指標		いちはらゴルフ場巡り33達成者数					人	6,759 /	7,409/2,000	7,488/2,000								
			小湊鉄道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鉄道乗車券、観光列車乗車人数の合計)					万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8								
		ゴルフ利用者数					万人	168 / 180	154/180	167/180									
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>「いちはらゴルフ場巡り33」は、目標を上回る多くの達成者があり、本市のゴルフ場への誘客効果が認められます。ゴルファー育成は、短期間で結果として表れるものではないため、継続して実施していくことでプレーヤーの裾野を広げていきます。</p> <p>今後は、ジュニアゴルフ大会の開催や誘致、ジュニアの練習環境の整備、小学生等を含めたゴルフ体験の拡大等、日本一のゴルフ場数というポテンシャルを活かした事業を実施していきます。</p>																	
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>三木市（兵庫県）：ゴルフ場スタンプラリー 長南町：長南町ゴルフ場スタンプラリー 大多喜町：ゴルフ体験（小学生）</p>																	
特記事項																			

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009034			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	花プロジェクト事業			事業期間	平成17年度～	
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部	
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 観光企画係	
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成担当者	
根拠法令等	花プロジェクト実施要領					
実施の背景	平成17年度にまちづくり（地域活性化）の一環として開始し、平成20年度には交通政策事業として、平成26年からは観光振興事業として継続して行われています。いずれの事業も小湊鉄道の利用率向上を目指すとともに、地元でボランティア活動を行っている団体の沿線の活性化や観光客へのおもてなし向上を図るものです。また、菜の花の種まきをイベント化し、参加者へ来春に無料で小湊鉄道に乗ることができる特典をつけるなど、地域への愛着の醸成とリピーター獲得を図っています。					
目的 (何をどうしたいのか)	市原市南部地域の観光振興事業として、本市を縦断する小湊鉄道沿線に菜の花の種をまき、咲かせることにより、次の効果を図ることが目的です。 (1) 菜の花満開の新たな撮影スポットを創出することで、観光客の集客を図ります。 (2) 本市の重要な観光資源である小湊鉄道からの景色を整備することで、鉄道の利用率向上と利用者へのおもてなし向上を図ります。 (3) 菜の花の維持管理を地域住民が自主的に行うことで、地域の賑わいづくりを図ります。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	地域活動団体、ボランティア（菜の花プレーヤーズなど）、小湊鉄道、観光客			対象者数（全住民に対する割合） 271,159 人 (%)	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	指定管理	
		委託先又は指定管理者				
		補助金(直接)		補助金(間接)	補助先	実施主体
		貸付		貸付先		
		その他		その他の内容		
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）						
種まきをイベント化し、市内外から参加者（約150人）を募ることで、菜の花の開花時（3月～4月）に再度訪れていただくことで、市原のリピーター確保に努めています。また、種まき箇所の下準備や維持管理については、地域活動団体に協力していただくことで、効率化を図っています。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染に伴う緊急事態宣言中につき、イベントとしては中止としたが、地域活動団体と協力し、種まきは予定どおり実施しました。						
【種まき箇所】 上総川間駅、上総鶴舞駅、上総久保駅、高滝駅、里見駅、飯給駅、月崎駅、上総大久保駅、佐是（上総牛久駅付近）、中（上総牛久駅付近）、本郷（高滝駅付近）、石神菜の花畑（養老溪谷駅付近）、市原湖畔美術館（高滝駅付近）						
【予算執行内容】 ・ 菜種購入費（400千円）：約200kgを地域活動団体から購入し、地域経済の振興にも努めています。 ・ イベント参加者用ノベルティ購入費（66千円）：種まきと開花の際に、小湊鉄道に無料乗車できます。 ・ 消耗品購入費（19千円）：種まき実施のための消耗品を購入しています。 ・ 種まき用地草刈り燃料費（24千円）：地域活動団体が事前に行う整備活動の燃料代を補填しています。						
関連事業 (同一目的事業等)	観光地おもてなし事業（担当：観光振興課、事業費1,500千円） 市内の里山保全活動（草刈りや植栽）等に対する補助事業です。					

事業シート（概要説明書）

事業シート（概要説明書）										
主な予算事業名		花プロジェクト事業費								
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費		
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		
コスト (人件費除く)	合計	688		508		636		629		
	内訳	需用費	542		508		492		487	
		委託料	146				144		142	
	合計	0.2人	1,500		0.2人	1,500		0.2人	1,500	
人件費	正職員	0.2人	1,500		0.2人	1,500		0.2人	1,500	
	会計年度任用職員等	人			人			人		
総事業費		2,188		2,008		2,136		2,129		
財源 内訳	合計	2,188		2,008		2,136		2,129		
	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	688		509		636				
		その他特財の内容		観光まちづくり基金						
一般財源		1,500		1,499		1,500		2,129		
事業 実績 及び 成果	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	事業実績	①	イベント参加人数	人	0 / 750	500/750	400/750			
		②			/	/	/			
		③			/	/	/			
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円		4	5		
	事業成果	小湊鉄道乗車人数			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
				/	/	/				
事業成果設定理由等	沿線地域の整備であるため、乗車数の増減を参考値としています。									
総合 計画 指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	実績指標	イベント参加人数			人	0 / 750	500/750	400/750		
		成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鉄道乗車人数			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8	
	ゴルフ場利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180			
				/	/	/				
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動団体の高齢化が進んでおり、里山の保全活動を行う後継者が不足しています。→地域おこし協力隊などとも連携し、若手の呼び込みを継続して進めています。 ・現状、多くのメディアにも取り上げられるようになった市内最大の菜の花鑑賞場所である養老溪谷付近にある「石神菜の花畑」に次ぐ、新たな鑑賞スポットの創出が必要です。→令和2年度の種まきにて、市原湖畔美術館を新規箇所に追加しました。 →令和4年度に上総大久保駅の種まき範囲を拡大予定です。 									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<ul style="list-style-type: none"> ・鴨川市：菜な畑ロード 観光協会が主体となり、3.3haの田んぼを活用して菜の花畑をつくっています。種まきは地域の学生などを交えて行い、開花時には花摘み体験を有料で行っています。 ・館山市：房総フラワーライン 市職員や市民により、約6kmの沿道に種まきを行っています。 									
特記事項										

事業シート（概要説明書）

事務事業名	観光プロモーション事業			事業期間	平成28年度～	
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部	
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 観光振興係	
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成担当者	
根拠法令等						
実施の背景	観光客は、特定の観光スポットを訪れることが目的であり、どの市町村を訪れるかは重要ではないと考えられます。そこで、近隣自治体に観光に訪れる方が、本市にも訪れていただけるよう、近隣自治体と連携し、市域をまたいだ観光ルートやメニューづくりなどを行い、他市町と一体的な魅力や周遊性を高めることで、観光産業市場の波及・拡大につなげていく取り組みが必要です。					
目的 (何をどうしたいのか)	本市単体での観光PRのほか、近隣自治体と連携して本市の観光スポットの魅力を一体的に発信することで、相互の流入による観光客の増加を図ります。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内及び市外の住民			対象者数（全住民に対する割合） 人（ % ）	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	指定管理	
		委託先又は指定管理者				
		補助金(直接)	<input type="radio"/>	補助金(間接)	補助先	一般社団法人市原市観光協会 実施主体 市原市
		貸付		貸付先		
		その他	<input type="radio"/>	その他の内容 負担金及び補助金		
	令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）					
	<p>【全国工場夜景都市協議会】 全国12都市（令和4年3月現在）が加盟し、観光資源として注目を集める「工場夜景」の更なる発展を目的に活動しており、本市は平成30年10月から加盟しています。工場夜景の魅力発信のため、毎年1回開催する「全国工場夜景サミット」のほか、同協議会Webサイト「工場夜景INFO」の運営や各都市の工場夜景カードの作成・配布など、連携して工場夜景の魅力発信に取り組んでいます。活動にあたって、各都市は毎年度150千円の負担金を支払っています。全国区の協議会であり、総会・サミットは各市持ち回りで開催されますが、新型コロナウイルス感染症の影響によって、書面会議及びオンライン開催に変更されました。</p> <p>【千葉市・市原市工場夜景推進協議会】 千葉市・市原市の工場夜景のPRや多彩な催しを展開することにより、「工場夜景」を両市の新たな観光資源として根付かせるとともに、地元企業に工場夜景を商材として認知してもらい、工場夜景を活用した商品を企画・販売していただく等により、両市の地域経済活性化及び観光振興に寄与することを目的として、令和2年度に発足しました。負担金として、令和3年度実績で496千円を支払っています。令和3年度はモニターツアーを企画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止されました。</p> <p>【千葉市・四街道市連携（千葉あそび）】 千葉市が発行する体験型観光プランを集めた無料誌「千葉あそび」に、市原市と四街道市のプランを掲載（年3回発行、各号1プラン掲載し、千葉市へ負担金（令和3年度実績612千円）を支出）することで、相互の市及び3市外から観光客の誘客を行っています。</p> <p>【大多喜町連携（養老渓谷観光ガイド）】 本市と大多喜町を跨ぐ養老渓谷エリアの観光客数増加を図るため、大多喜町と連携して観光ガイドを育成し、平成31年4月から養老渓谷観光ガイドの運用を開始しました。運営は一般社団法人市原市観光協会が行い、運営に対して本市と大多喜町は補助金を交付しています（令和3年度実績154千円、大多喜町は3分の1負担）。</p>					
	関連事業 (同一目的事業等)					

事業シート（概要説明書）

事業シート（概要説明書）										
主な予算事業名		観光プロモーション事業費								
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費		
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		
コスト	合計	1,000		1,410		1,214		8,294		
	事業費 (人件費除く)	内 訳	旅費	362	旅費	0	旅費	0	旅費	254
			需用費	638	負担金補助及び交付金	1,410	負担金補助及び交付金	1,214	需用費	47
									委託料	2,784
									負担金補助及び交付金	5,209
	人件費	合計	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750
		正職員	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750
		会計年度任用職員等	人		人		人		人	
	総事業費		4,750		5,160		4,964		12,044	
	財源内訳	合計	4,750		5,160		4,964		12,044	
国県支出金				0		0		0		
		国県支出金の内容								
地方債				0		0		0		
その他特財				100		132		140		
	その他特財の内容 大多喜町からの負担金									
一般財源		4,750		5,060		4,832		11,904		
事業実績及び成果	事業実績	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		①	千葉あそびの市原市プラン申込数		人	11 /	145/	200/		
		②	千葉市・市原市工場夜景モニターツアー応募者数		人	50 / 50	49/50	/		
		③	養老溪谷観光ガイド利用者数		人	316 /	46/	128/		
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円	469	34	60		
	事業成果	観光入込客数			千人	/	3067/	3,524/		
	事業成果設定理由等	本市単体での観光PRのほか、近隣自治体と連携して本市の観光スポットの魅力を一体的に発信することで、観光客の増加や相互の流入を図るため。								
総合計画指標	実績指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		連携事業数			回	5 / 2	5/3	4/3		
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鐵道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)			人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
	ゴルフ利用者数			人	168 / 180	154/180	167/180			
					/	/	/			
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>各連携事業の実施によって近隣自治体と一体的に魅力発信を行うことが出来ており、一定の集客効果が得られている一方で、新型コロナウイルス感染症流行などの要因も看過できませんが、過去3年の本市の観光入込客数は横ばい状態にあることから、観光入込客数の増加に寄与出来ているとは言い難い状況です。今後は、連携事業ごとに連携自治体と調整しながら、事業の廃止や新たな連携事業を継続的に実施するなど、より集客効果が得られる事業の実施を検討していく必要があります。</p> <p>なお、令和4年度は予算を広域等連携観光推進事業費に付け替え、観光プロモーション事業としては、旅行業者への売り込み等のため商談会参加を実施します。</p>									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)										
特記事項										

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009036			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	観光施設管理事業			事業期間	～		
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部		
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	<input type="checkbox"/>	法定受託事務	課・係	観光・国際交流課 観光企画係
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	<input type="checkbox"/>	環境	作成担当者	
根拠法令等	地方自治法						
実施の背景	観光客へのおもてなしとして、市内に点在する観光施設を観光客が気持ちよく使用できるよう、地元の事業者や団体に委託するなど管理運営を行ってきました。平成18年度からは指定管理制度を活用し、より効率的で適正な管理運営を行っているところです。今後も、指定管理者と共に観光施設の適正な管理運営を継続していく必要があります。						
目的 (何をどうしたいのか)	適正な管理運営を行っていくことで、下記の効果を期待しています。 (1) 施設の長寿命化が図れ、施設の維持管理費の軽減につながります。 (2) 定期的に施設の修繕を行うことで、利用者の安全を確保します。 (3) 指定管理制度により、各施設に常駐のスタッフを配置することで、観光客の利便性と満足度の向上を図ります。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民、観光客			対象者数（全住民に対する割合）		
					271,159 人	(%)	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="radio"/>
		委託先又は指定管理者		市原市地域振興財団、鶴舞桜の会、市原市観光協会、小湊鉄道株式会社			
		補助金(直接)		補助金(間接)		補助先	実施主体
		貸付		貸付先			
その他			その他の内容				
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）							
指定管理者や地元の事業者へ施設の管理委託などを行っています。 【予算執行内容】 ・小湊鉄道駅前公衆便所の光熱水費（638千円）：観光客の利用を主とし、市で設置したトイレの維持費です。 ・小湊鉄道駅前公衆便所の汲み取り費（199千円） ・観光施設修繕費（1,042千円） ・Wi-Fi運用費（323千円）：月々の使用料や保守費です。 ・観光案内所運営委託（19,266千円）：五井駅、養老溪谷駅にある案内所の運営を観光協会に委託しています。 ・観光施設清掃委託（3,157千円）：公衆便所等の清掃を小湊鉄道や地域活動団体に委託しています。 ・梅ヶ瀬溪谷ハイキングコース管理委託（1,595千円）：千葉県森林組合に年間を通じた維持管理を委託しています。 ・公衆便所合併浄化槽管理委託（128千円）：法定点検です。 ・高滝ダム記念館建築設備定期調査委託（184千円）：法定点検です。 ・高滝地区駐車場維持管理業務委託（300千円） ・指定管理費（28,617千円）：鶴舞公園と高滝湖畔公園で行っています。 ・土地賃借料（40千円）：看板設置や駐車場のための借地です。 ・仮設トイレ設置費（519千円）：春と秋の行楽シーズンに合わせ、梅ヶ瀬ハイキングコースや石神菜の花畑に設置しています。 ・高滝ダム記念館AED新規購入費（330千円）							
関連事業 (同一目的事業等)	勤労会館費（担当：商工業振興課） 勤労会館の指定管理及び維持管理に係る事業費です。						

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名		観光施設管理費								
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費		
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		
コスト (人件費除く)	合計	55,237		57,183		55,711		52,702		
	内 訳	需用費	832		1,680		2,144		1,445	
		役務費	672		522		670		230	
		委託料	53,107		53,444		52,003		50,350	
		使用料及び賃借料	626		559		894		677	
				その他 978						
	人件費	合計	0.3 人	2,250	0.3 人	2,250	0.3 人	2,250	0.3 人	2,250
		正職員	0.3 人	2,250	0.3 人	2,250	0.3 人	2,250	0.3 人	2,250
		会計年度任用職員等	人		人		人		人	
	総事業費		57,487		59,433		57,961		54,952	
財源内訳	合計	57,487		59,433		57,961		54,952		
	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	12,696		12,874		12,661		12,731		
		その他特財の内容		光熱水費等負担金、施設使用料、土地建物貸付収入						
一般財源		44,791		46,559		45,300		42,221		
事業実績及び成果			【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	事業実績	① 施設管理費				千円	59,318 / 51,000	55,711/51,000	52,702/51,000	
		②					/	/	/	
		③					/	/	/	
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円	1	1	1		
	事業成果	小湊鉄道乗車人数				万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8	
							/	/	/	
事業成果設定理由等	いずれの施設も市原市南部地域に位置するため、主な移動手段である小湊鉄道の乗車数を基準します。									
総合計画指標			【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	実績指標	施設管理費				千円	59,318 / 51,000	55,653/51,000	52,702/51,000	
		成果指標	小湊鉄道乗車人数				万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8
	主に関係する施策の指標	ゴルフ場利用者数				万人	168 / 180	154/180	167/180	
						/	/	/		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度に基づき、5年周期で社会情勢や施設の使用状況に最も適している委託先を選定していきます。 施設の老朽化が進んでいるため、大規模な改修工事にならないよう、計画的な補修工事を行っていくことで、施設の長寿命化と費用の削減に努めていきます。 									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<ul style="list-style-type: none"> 君津市：亀山湖畔公園 湖畔に点在する公園を指定管理制度により、管理運営しています。 									
特記事項										

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009037			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	観光施設整備事業				事業期間	平成21年度～		
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり				担当部	地方創生部		
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務		法定受託事務	課・係	観光・国際交流課 観光企画係	
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会		環境	作成担当者		
根拠法令等								
実施の背景	平成2年に竣工した高滝湖畔公園各施設をはじめとする観光施設については、いずれも経年劣化により、損壊や老朽化が目立っています。							
目的 (何をどうしたいのか)	観光施設を訪れる観光客が、安心・安全で気持ちよく利用できる施設や環境を維持します。							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	高滝湖畔公園の施設・設備				対象者数（全住民に対する割合）		
						271,159 人	(%)	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託		指定管理		
		委託先又は指定管理者						
		補助金(直接)		補助金(間接)		補助先	実施主体	
		貸付		貸付先				
		その他		その他の内容				
	令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）							
	観光客へのおもてなしとして、市内に点在する観光施設を観光客が気持ちよく使用できるよう修繕や改修を行っていく事業です。観光施設の設置年度はそれぞれ異なり、経年劣化した施設が出てきています。計画的に修繕や改修を行うことで、施設利用者の安全性や利便性が高まることにより、観光客の満足度の向上や、リピーターの確保が図ることで魅力ある観光地づくりの推進につなげていきます。							
	【管理区分について】 高滝湖畔公園の所有者は、千葉県と千葉県水道局、市原市（水道部）の3者であり、その維持管理を観光施設という位置付けで観光振興課が行っています。修繕に係る費用は所有者3者が持分により負担します。持分は千葉県49.7%、千葉県水道局34.6%、市原市（水道部）15.7%です。							
関連事業 (同一目的事業等)	※公共施設の改修・修繕事業は各施設それぞれで実施。							

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名		観光施設整備費									
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費			
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)			
コスト (人件費除く)	合計	4,226		2,132		6,959		5,825			
	内訳	工事請負費	4,226		需用費	2,132		工事請負費	4,402		
							使用料及び賃借料	151			
							委託料	137			
	人件費	合計	0.1人	750		0.1人	750		0.1人	750	
		正職員	0.1人	750		0.1人	750		0.1人	750	
		会計年度任用職員等	人			人			人		
	総事業費		4,976		2,882		7,709		6,575		
	財源内訳	合計	4,976		2,882		7,709		6,575		
		国県支出金	国県支出金の内容								
地方債											
その他特財		2,343		2,132		6,671		3,916			
		その他特財の内容		高滝ダム環境整備共同施設修繕負担金							
一般財源		2,633		750		1,038		2,659			
事業実績及び成果	事業実績	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
		①	高滝湖畔公園管理面積		m ²	62,564 /	62,564	62,564			
		②	修繕箇所		箇所	3 /	2	3			
		③				/	/	/			
	単位当たりコスト	総事業費 / ①		千円	0.1	0.1	0.1				
	事業成果	テニスコート利用者数		人	2,128 /	1,770	1,536				
		高滝ダム記念館利用者数		人	8,506 /	6,695	7,952				
事業成果設定理由等	安全に気持ちよく利用できる施設や環境を維持し、利用促進につなげていきます。										
総合計画指標	実績指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
		修繕箇所		箇所	3 /	2	3				
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鐵道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)		万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8				
		ゴルフ利用者数		万人	168 / 180	154/180	167/180				
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	市内全域にある観光施設を通年で維持管理している中で、修繕が必要なものを行っていく事業です。既存施設の長寿命化が図れ、施設の維持管理の軽減にもつながるため、事業を継続する必要があります。										
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	市内の各公共施設はいずれも老朽化しており、計画的な改修や修繕に取り組みます。										
特記事項	老朽化した施設の改修を関係者と協議の上、計画的に進めてきました。ここ数年は、外国人観光客や高齢者へのおもてなし向上のため、高滝湖畔公園のトイレ改修（洋式化）を重点的に行っています。										

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009038			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	観光大使・ふるさと応援団事業			事業期間	平成19年度～	
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部	
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 観光振興係	
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成担当者	
根拠法令等	いちはら観光大使制度実施要綱、市原市ふるさと応援団認定要領					
実施の背景	<p>観光大使は、ゆかりのある著名人等を通じて、その地域の魅力、良さを広く内外にPRすることを目的としており、日本各地で委嘱された観光大使が日々活動を行っています。本市では、平成19年度から「いちはら観光大使制度」を開始し、本市のPRにご協力いただいています。</p> <p>また、近年は情報発信方法が多様化し、SNSの普及によって個人による情報発信が増加していることから、平成26年度から本市に愛着のある個人または団体を「ふるさと応援団」として認定し、本市のPRに取り組んでいただいています。</p>					
目的 (何をどうしたいのか)	いちはら観光大使やふるさと応援団を通じて、本市の観光情報を市内外に本市の魅力を広くPRすることです。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市内及び市外の住民			対象者数（全住民に対する割合） 人（100%）	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	指定管理	
		委託先又は指定管理者				
		補助金（直接）		補助金（間接）	補助先	実施主体
		貸付		貸付先		
		その他		その他の内容		
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）						
<p>【いちはら観光大使】 本市にゆかりがある著名人等など「いちはら観光大使」として委嘱し、その方のテレビ出演やSNS発信など日頃の活動の際に、併せて本市の魅力をPRしていただくものです。令和4年3月現在9名の観光大使に活動していただいております。活動に際して、毎年1回所属事務所などを訪れて今年度の活動についてミーティングを行うほか、観光大使用の名刺を作成（令和3年度実績60千円）・配布し、観光大使の活動にご活用いただいております。また、観光大使の活動は原則として無報酬ですが、上総いちはら国府祭りなど市のイベントに出演いただく際には、別途出演料の支払いを行っています（令和3年度未執行）。</p> <p>【ふるさと応援団】 本市に在住、在学、在勤しており、市原市生涯学習センターが実施する市民大学の観光コースを修了した方や、本市の観光について知識がある方のうち、活動を希望する個人、または、本市を拠点に活動し、PRに協力いただける団体を「ふるさと応援団」として認定するものです。活動内容としては、日常生活や日々の活動において、SNSなどで本市のPRをしていただくほか、本市に有益な情報（例えば、テレビ撮影や飲食店の開店情報など）を市に提供していただいております。令和4年6月現在、93名2団体を認定し、活動いただいております。また、ふるさと応援団の活動は原則として無報酬であり、認定の際にふるさと応援団の認定書及び団員証を交付しています。</p> <p>なお、市民大学観光コースの卒業生に関しては、現在、活動の現状把握・活用がなされていない状況であるため、平成30年度より個人での認定を見合わせています。</p>						
関連事業 (同一目的事業等)	<p>事業名：いちはら市民特派員事業 担当部局：企画部 事業費：570千円 内容：公募した一般市民を市民特派員として指名し、行政では拾いきれない本市の魅力や身近な話題を市内外に向けて発信する。</p>					

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名 観光大使・ふるさと応援団事業費										
コスト	会計・科目	会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費		
	[単位：千円]	令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		
	合計	254		60		90		198		
	内訳	報償費	100		0		0		100	
		旅費	24		0		0		8	
		需用費	130		60		90		90	
	合計	0.1 人	750	0.1 人	750	0.1 人	750	0.1 人	750	
	人件費	正職員	0.1 人	750	0.1 人	750	0.1 人	750	0.1 人	750
		会計年度任用職員等	人		人		人		人	
	総事業費	1,004		810		840		948		
財源内訳	合計	1,004		810		840		948		
	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	その他特財の内容								
	一般財源	1,004		810		840		948		
事業実績及び成果	事業実績	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		① 観光大使の活用回数			回	0 / 3	0/3	2/3		
		② ふるさと応援団認定数(個人・累計)			人	93 / 93	93/93	93/93		
	③ ふるさと応援団認定数(団体・累計)			団体	2 / 2	2/2	2/2			
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円			474		
	事業成果	観光大使の活用回数			回	0 / 3	0/3	3/3		
事業成果設定理由等	いちらは観光大使やふるさと応援団を通じて市内外に本市の魅力を広くPRすることで、観光などの目的で本市を訪れる方の増加を図るため。									
総合計画指標	実績指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		観光大使の活用回数			回	0 / 3	0/3	2/3		
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鐵道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
		ゴルフ利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>観光大使によってSNSでの情報発信や市のイベント出演などの活動頻度に差が生じており、また、名刺の活用状況を把握できていない状況です。今後は、活動が任意であることに留意しつつ、市が何をPRしてほしいか具体的に示したうえで、定期的な情報提供や名刺の有効活用方法の検討・提案など、各観光大使が活動しやすいよう、制度の運用面を改善し、より効果的なPRを行っていく必要があります。</p> <p>ふるさと応援団については、人数が多く個人の活動状況が把握できておらず、効果が不透明な状況にあります。また、類似事業として「いちらは市民特派員」があり、昨年度は事業実績が無く、事務的負担が生じていないことから、本制度のあり方を見直す必要があります。</p>									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>千葉県 5BEACH観光PR大使 千葉市の5つのビーチエリア（幕張の浜、検見川の浜、いなげの浜、千葉みなと、蘇我）それぞれの魅力を、公募により選出したPR大使が市内外に発信するもの。 5ビーチエリアでのイベントや旬の観光情報、人の紹介、各種メディア出演、SNS等でのPRを行う。</p>									
特記事項										

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009040			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	観光地環境整備事業			事業期間	平成20年度～	
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部	
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 観光企画係	
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成担当者	
根拠法令等	観光地魅力アップ整備事業補助金交付要綱、外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業補助金交付要綱					
実施の背景	市原市観光振興ビジョン（2020改訂版）では観光入込客数を2026年に500万人とすることを目標としており、達成に向けた施策の1つとして、観光客の利便性向上を図るため観光地の受入環境整備を進めているところであるが、現状は観光バスなどにも対応できる駐車場や公衆トイレの整備が遅れている状況です。また、インバウンド推進として、多言語案内看板やWi-Fi環境についても効果的に整備を行っていく必要があります。					
目的 (何をどうしたいのか)	都心から1時間圏内で、成田・羽田の両空港の中間地点に位置する本市の地理的優位性を活かし多くの観光客を呼び込むためには、公衆トイレや多言語案内看板、Wi-Fi環境、また駐車場の整備等を早急に行っていく必要があります。 インバウンド推進として、Wi-Fi環境の整備を計画的に行います。また、公衆トイレの新設・改修、多言語案内看板の設置等を行い観光地の基盤整備を図ります。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民、観光客			対象者数（全住民に対する割合） 271,159 人 (%)	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	指定管理	
		委託先又は指定管理者				
		補助金(直接)		補助金(間接)	補助先	実施主体
		貸付		貸付先		
		その他		その他の内容		
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など） ・月崎駅前公衆便所新築工事設計委託（2,442千円） ※令和2年度からの繰越明許費 市原市観光振興ビジョン（2020改訂版）の目標像「誰もが訪れたいくなる おもてなしのまち いちはら」の実現に向け、観光客が快適に過ごせるよう受入環境整備を行い、利便性、機能性、快適性が優れた魅力ある観光地づくりを進めている。その施策の一つとして、観光地を訪れる全ての人が、より快適に使えるよう、ユニバーサルデザインに配慮した観光地のトイレ整備を行う。 これまで小湊鐵道沿線のトイレ整備を行ってきたが、月崎駅前には、本市の観光大使である栗田氏が作製した木造の多目的トイレが1基あるのみである。また、チバニアン最寄駅でもあり、トロッコ列車の停車や観光バスの停車など多くの観光客が利用しているため、公衆トイレを新設することで観光客の受け入れ体制を整え、おもてなし向上を図る。						
関連事業 (同一目的事業等)	観光地魅力アップ整備事業（担当：千葉県） 県が自治体のトイレ整備などに対し、補助金交付を行うものです。					

事業シート（概要説明書）

事業シート（概要説明書）											
主な予算事業名		観光地おもてなし事業費（ハード）									
コスト	会計・科目	会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費			
	[単位：千円]	令和4年度（予算）		令和3年度（決算）		令和2年度（決算）		令和元年度（決算）			
	合計	39,627		2,442		35,507		29,168			
	内訳	需用費	165		委託料	2,442		需用費	121		
		委託料	1,403					役務費	7		
使用料及び賃借料		407					委託料	34,416			
工事請負費		37,349					工事請負費	963			
負担金補助及び交付金		303					負担金補助及び交付金	908			
その他							142				
人員費	合計	0.3人	2,250	0.3人	2,250	0.3人	2,250	0.3人	2,250		
	正職員	0.3人	2,250	0.3人	2,250	0.3人	2,250	0.3人	2,250		
	会計年度任用職員等	人		人		人		人			
	総事業費	41,877		4,692		37,757		31,418			
財源内訳	合計	41,877		4,692		37,757		31,418			
	国県支税金	7,500				10,208					
		国県支税金の内容		観光地魅力アップ整備事業補助金、外国人観光客誘致のための公衆無線LAN環境整備事業補助金							
	地方債	19,300				12,300					
	その他特財	55									
その他特財の内容		光熱水費等負担金									
	一般財源	15,022		4,692		15,249		31,418			
事業実績及び成果	事業実績	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
		① 整備箇所				箇所	0 /	4	3		
		②					/	/	/		
		③					/	/	/		
	単位当たりコスト	総事業費 /			千円		9,440	10,472			
	事業成果	小湊鉄道乗車人数			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8			
		ゴルフ場利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180			
事業成果設定理由等	両人数ともに観光客の利用が主となるため。										
総合計画指標	実績指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
		整備箇所			箇所	0 /	4	3			
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鉄道乗車人数			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8			
		ゴルフ場利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180			
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	千葉県補助金等を積極的に活用し、高齢者や外国人を含めた幅広い観光客を呼び込む環境づくりのため、公衆トイレ、Wi-Fi環境、多言語案内看板、駐車場の整備等を行ってきました。										
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	千葉県内の各自治体において、県補助金を利用した事業が多数行われています。 <例>香取市：街歩き観光トイレ										
特記事項	月崎駅前に建築を予定している公衆トイレについて、小湊鉄道と協議した結果、養老溪谷駅や大久保駅にあるトイレと同様に景観に配慮したトイレとします。										

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009041			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	市原市観光協会補助事業			事業期間	平成10年度以前 ～		
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部		
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 観光振興係		
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成 担当者		
根拠法令等	市原市観光協会補助要綱						
実施の背景	平成5年、当協会は、本市の観光振興施策に関する計画を推進し、観光資源の開発等を図ることにより、活力ある観光地づくりを促進し、市民生活及び公共の福祉の向上を図るとともに地域経済及び文化の発展に寄与することを目的として、公益法人として設立されました。平成25年には、より高度な観光施策の推進を迅速かつ柔軟に行うため、一般社団法人となりました。市では、公益性の高い観光事業を継続されることが、本市の観光施策に寄与するものとして、協会に対して、安定的な団体運営を行えるよう、予算の範囲内で補助金を支出しています。						
目的 (何をどうしたいのか)	協会の運営体制が、安定的な団体運営を行うことができる状態であることまた、収益事業の黒字化を図り、補助金の縮減に向けた取り組みを支援します。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	一般社団法人 市原市観光協会			対象者数（全住民に対する割合）		
					271,159 人	(%)	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	指定管理		
		委託先又は指定管理者					
		補助金(直接)		補助金(間接)	補助先	実施主体	
		貸付		貸付先			
その他		その他の内容					
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）							
市原市観光協会補助金交付要綱により、次のとおり協会に対して補助金を交付します。 1 運営費補助 協会の一般管理費など、運営を継続するのに必要な経費です。 2 公益事業補助 協会が行う事業で、公益性の高い事業については、次の基準によりこれを判定し、補助を行います。 (1) 観光資源の調査、研究保全及び開発に係る経費 (2) 観光地の環境美化に係る経費 (3) 観光に関する市民意識の普及向上に係る経費 (4) 観光振興に寄与する各種行事の実施に係る経費 (5) 観光地の宣伝・紹介に係る経費 (6) その他、上記事業を実施するために必要と認める運営に係る経費 3 補助した事業例 (1) いちはらゴルフ場巡り33事業 (2) 養老渓谷観光案内所運営事業 (3) 養老渓谷観光ガイド運営							
関連事業 (同一目的事業等)							

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名 市原市観光協会補助事業費											
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費			
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)			
コスト (人件費除く) 事業費	合計	23,631		23,656		23,076		46,713			
	内訳	負担金補助及び交付金	23,631	負担金補助及び交付金	23,656	負担金補助及び交付金	23,076	負担金補助及び交付金	46,713		
人件費	合計	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750		
	正職員	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750	0.5 人	3,750		
	会計年度任用職員等	人		人		人		人			
総事業費		27,381		27,406		26,826		50,463			
財源 内訳	合計	27,381		27,406		26,826		50,463			
	国県支出金							8,317			
		国県支出金の内容		商工費国庫支出金 地方創生推進交付金 臨時・業務収入							
	地方債										
	その他特財	その他特財の内容									
一般財源		27,381		27,406		26,826		42,146			
事業 実績 及び 成果	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度				
	事業実績	①	運営費補助額(決算)	千円	19,600 /	19600	36234				
		②	公益事業補助額(決算)	千円	4,056 /	3476	10479				
		③			/	/	/				
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円	1	1	1			
	事業成果	協会の収益事業の回数			回	4 /	6/	11/			
協会の会員数			名	144 /	142/	139/					
事業成果設定理由等	協会が、安定的に事業運営できているか、また自主的に事業を展開しているか。										
総合 計画 指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度				
	実績指標	観光資料(パンフレット)の設置個所数			箇所	35 / 60	38/60	40/60			
		成果指標 主に 関係する 施策の 指標	小湊鐵道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
			ゴルフ利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		観光協会が本市の魅力を十分に発信することができるよう、今後も必要な範囲で補助を行っていきます。一方で、観光協会が自立して事業展開を行い、観光客の増加に比して補助金の額が低減していくよう、効果的な活動をサポートしていきます。									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		木更津市 観光協会 会員数256名									
特記事項											

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009042			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	上総いちはら国府祭り実施事業			事業期間	平成23年度～			
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部			
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務		法定受託事務		課・係	観光・国際交流課 観光振興係
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会		環境		作成担当者	
根拠法令等	上総いちはら国府祭り補助金交付要綱、上総いちはら国府祭り実行委員会設置要綱							
実施の背景	昭和56年から市と実行委員会で例年8月中旬に実施された「いちはら市民まつり」に代わるイベントとして、平成23年から例年10月に「上総いちはら国府祭り」を開催しています。 上総いちはら国府祭りでは、会場を当時新たに街づくりが始まった更級地区に変更することで、地域の活性化に寄与するとともに、開催日程を4時間から2日間合計16時間に拡大し、「ちばYOSAKOI」などの大規模団体をはじめ、様々な催しをプログラムに加えることで市外からの来場者も楽しめるイベントとなっています。							
目的 (何をどうしたいのか)	上総いちはら国府祭りは歴史や文化に根ざした、ふるさと市原の魅力を市内外に発信し、多くの方々に訪れていただくことで、賑わいを創出するとともに市民の誇りや郷土愛を育むことを目的としています。							
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民及び市外来場者				対象者数（全住民に対する割合）		
						271,159人	()%	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託		指定管理		
		委託先又は指定管理者						
		補助金(直接)	<input type="radio"/>	補助金(間接)		補助先	上総いちはら国府祭り実行委員会	
		貸付		貸付先		実施主体	市原市及び実行委員会	
その他	<input type="radio"/>	その他の内容 事務局運営						
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）								
<p>上総いちはら国府祭りは、市と実行委員会の共催事業であり、実行委員会は実行委員長である市原市長をはじめ、市原市議会議長や市原市観光協会会長など関連する市内団体の代表19名で構成されています。この実行委員会は、上総いちはら国府祭りの実施内容や収支予算等を決定する機関であり、事務局は市原市観光振興課が担っています。</p> <p>【催しの概要】※令和元年度の状況 名称 第9回上総いちはら国府祭り／主催 市原市、上総いちはら国府祭り実行委員会 開催日時 令和元年10月5日（土）及び10月6日 両日とも午後0時から午後8時まで 会場 上総更級公園、上総大路、アリオ市原サンシャインコート屋外 駐車場 市原市役所500台、市原市防災センター500台、AGC第2駐車所500台 計1,500台 アクセス JR五井駅及び各会場を15分おきの無料シャトルバスで巡回 来場者数 18万人／参加者数 7,194人（団体数は110団体）／出展数 100団体 主な催し 時代絵巻行列、山鉦・山車の巡行、練り踊り、いちはら大綱引（市原青年会議所主催）、ハロウィンパレード（市原市観光協会主催）、ちばYOSAKOI 2019（ちばYOSAKOI 2019実行委員会主催）、いちはら国府花火大会（いちはら国府花火大会実行委員会主催）</p> <p>【事務局の主な業務】 実行委員会の開催、出演団体の募集及び調整、出展団体の募集及び調整、各団体との調整、協賛金の募集、警備業務、設営業務、広報宣伝業務 など</p> <p>【主な収入】※令和元年度 市補助金21,899千円／協賛金4,810千円／有料観覧席販売495千円／出展料1,480千円／その他繰越金等3,077千円 計31,761千円</p> <p>【その他】 開催準備及び開催当日の人員として、市役所職員約200人が従事しています。</p>								
関連事業 (同一目的事業等)								

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名 上総いちはら国府祭り実施事業費										
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費		
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		
コスト (人件費除く)	合計		25,000		0		0		21,899	
	事業費 内訳	補助金(直接)		25,000		補助金(直接)		0		補助金(直接) 21,899
人件費	合計		3.3 人 17,506		1.3 人 9,750		1.3 人 9,750		1.3 人 9,750	
	正職員		2.3 人 17,250		1.3 人 9,750		1.3 人 9,750		1.3 人 9,750	
	会計年度任用職員等		1 人 256		0 人 0		0 人		0 人	
総事業費		42,506		9,750		9,750		31,649		
財源 内訳	合計		42,506		9,750		9,750		31,649	
	国県支出金		国県支出金の内容							
	地方債									
	その他特財		その他特財の内容							
	一般財源		42,506		9,750		9,750		31,649	
事業 実績 及び 成果	【指標名】（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	事業実績		① 国府祭り来場者数		万人	0 /	0/	18/20		
			② ステージイベント一般参加団体数(公募)		団体	0 /	0/	49/50		
			③ いちはら国府市団体数(オフィシャルブース除く)		団体	0 /	0/	74/80		
	単位当たりコスト		総事業費 /		千円			2,334		
	事業成果		市外来場者比率(アンケート参考)		%	0 /	0/	19/100		
		満足度(アンケート参考)		%	0 /	0/	93/100			
事業成果設定理由等		来場者の意見等を事業の改善等に活用するため来場者アンケートを実施している。								
総合 計画 指標	【指標名】（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
	実績指標		国府祭り来場者数		万人	0 /	0/	18/20		
	成果指標 主に関係する 施策の指標		小湊鉄道利用者数(1日フリー乗車券、房総横断鉄道乗車券、観光列車乗車人数の合計)		万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
		ゴルフ利用者数		万人	168 / 180	154/180	167/180			
					/	/	/			
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>上総いちはら国府祭りは、近隣自治体の市民まつり等と比較しても規模が大きく、市内外から多くの方が来場しているとともに、市内団体をはじめとして多くの方が参加しているため、その目的を達成しています。</p> <p>そのため、今後も来場者アンケートや関係団体の意見を参考に内容等を改善し、継続していくことが重要と考えます。</p> <p>令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止しました。</p> <p>令和4年、令和5年の祭りに向けて、若者・女性を中心としたプロジェクトチームによる新たな国府祭りのあり方について検討を行います。</p>								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>近隣市町村で開催される市民祭り等の催し</p> <p>千葉市 千葉親子三代夏まつり 3日間開催</p> <p>木更津市 木更津みなとまつり 2日間開催</p> <p>茂原市 茂原七夕まつり 3日間開催</p>								
特記事項										

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009043			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	地域資源を活かした観光振興事業(超小型電気自動車(EV)導入実証)			事業期間	～ 令和4年度		
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部		
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 観光企画係		
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	<input type="radio"/> 作成担当者		
根拠法令等							
実施の背景	南市原の観光スポットは、各所に点在しており、自家用車で訪れることはできますが、小湊鉄道や路線バスを利用した来訪には制約があり、駅からの交通手段の充実化が求められている状況です。						
目的 (何をどうしたいのか)	観光の中核をなす小湊鉄道トロッコ列車と南部地域に点在する養老溪谷、チバニアン等の多彩な観光資源を結ぶ二次交通を充実させ、観光客の利便性を高めます。 これにより地域資源の更なる活用・発掘を進め、既存事業との相乗効果により、南市原の魅力アップや『世界に一番近いSATOYAMA』のブランド力向上を図り、観光誘客及び交流人口の拡大につなげます。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	小湊鉄道乗降者 南市原を訪れる観光客			対象者数(全住民に対する割合)		
					271,159 人	(%)	
	実施方法	直接実施	<input type="checkbox"/>	業務委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先又は指定管理者					
		補助金(直接)	<input type="checkbox"/>	補助金(間接)	<input type="checkbox"/>	補助先	実施主体
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先			
		その他	<input type="radio"/>	その他の内容 市と出光グループが協定を締結し、それぞれの役割分担のもと、実証を実施する。			
	令和3年度 事業内容(手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など)						
	○実施内容 市と出光グループとの連携により、位置情報システムを搭載した超小型EVを導入し、南市原の玄関口である上総牛久駅を起点とする、周辺観光施設等への二次交通手段として提供します。これにより、利用者の属性・走行ルート・滞在箇所といったデータや利用者アンケートにより、ニーズ等を把握し、新たなツアー造成など今後の観光施策に活用するための実証を実施します。 ※ 超小型EVを使用する背景 今回導入予定の「超小型EV」は、自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れた2人乗りの電気自動車です。 観光地での活用を中心に、地域の手軽な移動の足として注目を集めています。						
	○導入箇所：上総牛久駅 選定理由 ・小湊鉄道のダイヤ改正により、五井～上総牛久間の列車運行本数が増強されるため、上総牛久駅からの二次交通の確保が重要となる。 ・トロッコ列車の発着点であり、周辺観光スポットにも近く、多くの観光客が利用することが期待できる。						
○導入台数：超小型EV車両2台 ○導入期間：令和3年度から令和4年度までの2年間 (令和3年4月1日スタート予定) ○活用内容：・アート×ミックス各会場への周遊手段としての利用 ・上総牛久駅をはじめとする小湊鉄道沿線の二次交通の充実 ・利用者の属性、走行ルート、滞在箇所等のデータ把握 ○設置場所：上総牛久駅前広場「里山トイレ」前							
関連事業 (同一目的事業等)	・君津市・大多喜町との連携による広域観光事業(さとやまGO) ・サイクルツーリズム推進事業(電動スポーツ自転車等の導入) ・観光周遊バス補助(令和3年度より実施)						

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名 地域資源を活かした観光振興事業									
会計・科目		会計 一般会計			款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)			令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)
コスト (人件費除く)	合計		2,641		2,433		0		0
	内訳	負担金	2,535		負担金	2,415			
		光熱水費	106		光熱水費	18			
人件費	合計		0.2人 1,500		0.2人 1,500		0人 0		0人 0
	正職員		0.2人 1,500		0.2人 1,500		人 0		人 0
	会計年度任用職員等		人		人		人		人
総事業費		4,141		3,933		0		0	
財源内訳	合計		4,141		4,301		0		0
	国県支出金	0		1,143					
		国県支出金の内容		地方創生推進交付金					
	地方債								
	その他特財	1,400		0					
その他特財の内容		観光まちづくり基金							
一般財源		2,741		3,158					
事業実績及び成果	【指標名】（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	事業実績	① EV実働日数(延べ)			件	120 / 365	/	/	
		②				/	/	/	
		③				/	/	/	
	単位当たりコスト	総事業費 / ①			千円	33			
	事業成果	EV実働日数(延べ)			件	120 / 365	/	/	
				/	/	/			
事業成果設定理由等	稼働日数の増加により、新たな観光ルートの創出につなげていきます。								
総合計画指標	【指標名】（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	実績指標	EV実働日数(延べ)			件	120 / 365	/	/	
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鐵道利用客数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8	
		ゴルフ場利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180	
						/	/	/	
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<ul style="list-style-type: none"> 週末の利用は、一定数あったものの、平日利用は少ない状況です。 現在、市内に限定されている走行エリアについて、隣接自治体への拡張について検討する必要があります。 							
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		高山市（飛騨高山）→令和3年度末で実証を終了。 館山市→南房総市もエリアに編入。一定の利用あります。							
特記事項		令和5年度以降の運用について、令和4年度10月ごろまでに方向性を定める必要があります。							

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009043			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	地域資源を活かした観光振興事業			事業期間	平成28年度～			
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部			
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係	観光・国際交流課 観光企画係		
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成担当者			
根拠法令等	バス実証実験事業実行委員会設置要綱（実施自治体である市原市、君津市及び大多喜町にて制定）							
実施の背景	本市と君津市、大多喜町は、距離的に近接していながらも、養老溪谷駅・久留里駅間については公共交通による接続がなく、養老溪谷駅・上総中野駅間においても鉄道の接続本数が少ない状況であることから、利用者の利便性が損なわれています。利用者も減少傾向にあり、本市中南部の市民の生活交通として不可欠である同鉄道の維持・確保が危ぶまれる状況です。							
目的 （何をどうしたいのか）	本市と君津市、大多喜町との広域連携により、3市町にまたがるエリアを訪れる観光客の2次交通として、これまで距離的に近接していながら公共交通による接続がない養老溪谷駅・久留里駅間や鉄道の接続本数の少ない養老溪谷駅・上総中野駅間において、周遊バスを運行する実証実験を行い、新たな観光ルート創出を目指します。これにより小湊鉄道が多くの利用者を獲得し、本市中南部の市民の生活交通として不可欠である同鉄道の維持・確保が図られることを目的とします。							
事業概要	対象 （誰・何を対象に）	小湊鉄道、久留里線、いすみ鉄道乗降者 南市原、君津市久留里地区亀山地区及び大多喜町を訪れる観光客			対象者数（全住民に対する割合） 271,159 人（ % ）			
	実施方法	直接実施	業務委託	指定管理				
		委託先又は指定管理者						
		補助金（直接）	補助金（間接）	<input type="radio"/>	補助先	バス実証事業実行委員会	実施主体	小湊鉄道・日東交通
		貸付	貸付先					
		その他	その他の内容					
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）								
1 実施内容 上総中野駅及び久留里駅を起発着点とし、途中、養老溪谷駅、弘文洞入口、老川、竹森もみじ谷、七里川温泉、亀山藤林大橋を主な停留所とする観光周遊バスを運行する。土日祝日のみの定時定路線型の運行とし、1日の運行は5往復です。令和2年度からは、事業周知を外部委託し、強化していくことで利用者の増加につなげていきます。								
2 実施期間 11月20日～から12月5日までの土日祝日、計7日間運行します。								
3 利用運賃 大人500円、小人250円								
4 実績 2021さとやまGO上下延べ854人 乗車券購入者延べ614人（大人500円/子ども250円） 残りフリーパス使用者延べ240人								
関連事業 （同一目的事業等）								

事業シート（概要説明書）

<p>主な予算事業名 市原市まち・ひと・しごと事業費 地域資源を活かした観光振興事業費</p>										
会計・科目		会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費		
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		
コスト (人件費除く)	合計	1,000		940		1,396		1,292		
	内訳	負担金補助及び交付金	1,000		940		1,396		1,292	
人件費	合計	0.2 人	1,500	0.2 人	1,500	0.2 人	1,500	0.2 人	1,500	
	正職員	0.2 人	1,500	0.2 人	1,500	0.2 人	1,500	0.2 人	1,500	
	会計年度任用職員等	人		人		人		人		
総事業費		2,500		2,440		2,896		2,792		
財源内訳	合計	2,500		2,440		2,896		2,792		
	国県支出金	国県支出金の内容								
	地方債									
	その他特財	その他特財の内容								
	一般財源	2,500		2,440		2,896		2,792		
事業実績及び成果	事業実績	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		①	バス運行日数		日	8 /	11/13	10/13		
		②				/	/	/		
	③				/	/	/			
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円	305	263	279		
	事業成果	平均利用者数(1便当たり)				人	15 /	13.9	5.1	
事業成果設定理由等		平均利用者数の増加により、新たな観光ルートの創出につなげていきます。								
総合計画指標	実績指標	【指標名】（実績値/目標値）			単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度		
		バス運行日数				日	8 /	11/13	10/13	
	成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鉄道乗車人数				万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8	
ゴルフ場利用者数					万人	168 / 180	154/180	167/180		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	<p>コロナ禍において、マイクロツーリズムが着目される中、利用者数は増加に転じました。今後は、利用促進に向けて、事業周知を外部委託し強化を図っていきます。また、路線バス形式の効果検証も終わりに近づきつつあると考えていますので、近隣市町と連携できる事業について検討していきます。</p>									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	<p>・静岡県沼津市 路線バス社会実験（大岡循環実証実験）事業 公共交通空白地域において、期間を限定してバスの運行実験を行い、住民の利便向上、交流人口の拡大、バス交通の活性化を目的に実施され、平均利用者数（1日当たり）4.4人となっています。</p>									
特記事項	<p>君津市及び大多喜町と連携し、里山を生かした観光振興を図るべく、令和2年度・3年度に追加した事業と相乗効果が発揮できるよう実施していきます。</p>									

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2009044			

事業シート（概要説明書）

事務事業名	魅力ある観光地づくり事業			事業期間	平成28年度～		
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部		
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	法定受託事務	課・係 観光・国際交流課 観光企画係		
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	環境	作成担当者		
根拠法令等	市原市魅力ある観光地域づくり事業費補助金交付要綱						
実施の背景	市内には観光地周辺の整備を地域住民がボランティアで行っている団体が多いことから、整備に係る費用の一部を市が補助するため、平成28年度に「市原市魅力ある観光地域づくり事業費補助金交付要綱」を制定し、観光地づくり（観覧場所や植樹等の景観整備 看板や駐車場等の環境整備）を行う市内の団体に対し、その事業費の3/4補助を行っています。現在、補助金を活用し、数年計画で大規模な整備を進めている団体もあることから、引き続き補助を行っていく必要があります。						
目的 (何をどうしたいのか)	市の意向だけでなく、地域の住民自らが思い描く観光地づくり活動を支援することにより、整備後の維持管理についても、地域全体で自主的に行う意志が生まれ、持続的な観光地の発展につながるだけでなく、地域活性化を図ることも目的としています。 また、観光客が訪れた際も、住民が自ら整備をした箇所ということで、より内容のある案内やおもてなしが可能となります。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	地域活動団体、観光客			対象者数（全住民に対する割合）		
					271,159 人	(%)	
	実施方法	直接実施	<input type="checkbox"/>	業務委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先又は指定管理者					
		補助金(直接)	<input type="radio"/>	補助金(間接)	<input type="checkbox"/>	補助先	地域活動団体
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先			
		その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容			
	令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）						
	観光地づくり（観覧場所や植樹等の景観整備 看板や駐車場等の環境整備）を行う市内の団体に対し、その事業費の3/4補助を行っています。ただし、1団体あたりの上限金額は25万円となっています。 【予算執行内容】 ・市原市観光地づくり整備事業費補助金（100千円）：1団体分						
	関連事業 (同一目的事業等)	観光地おもてなし事業（担当：観光振興課、事業費1,500千円） 市内の里山保全活動（草刈りや植栽）等に対する補助事業です。					

事業シート（概要説明書）

主な予算事業名 魅力ある観光地づくり事業費											
会計・科目		会計 一般会計			款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費		
〔単位：千円〕		令和4年度(予算)			令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		
コスト (人件費除く)	合計		300			100		487		310	
	事業費 内訳	負担金補助及び交付金		300			100		487		310
人件費	合計		0.1 人		750		0.1 人		750		
	正職員		0.1 人		750		0.1 人		750		
	会計年度任用職員等		人		人		人		人		
総事業費		1,050			850		1,237		1,060		
財源 内訳	合計		1,050			850		1,237		1,060	
	国県支出金		国県支出金の内容								
	地方債										
	その他特財		300			100		487			
			その他特財の内容			観光まちづくり基金					
一般財源		750			750		750		1,060		
事業 実績 及び 成果	【指標名】（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	事業実績		① 補助団体数			団体	1 / 2	2/2	2/2		
			②				/	/	/		
			③				/	/	/		
	単位当たりコスト		総事業費 / ①			千円	850	618	530		
	事業成果		小湊鉄道乗車人数			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
事業成果設定理由等		過去の補助金交付先が、主に市原市南部地域となっているためです。									
総合 計画 指標	【指標名】（実績値/目標値）				単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度			
	実績指標		補助団体数			団体	1 / 2	2/2	2/2		
	成果指標		小湊鉄道乗車人数			万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
	主に関係する施策の指標		ゴルフ場利用者数			万人	168 / 180	154/180	167/180		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<ul style="list-style-type: none"> 本市の観光資源は里山景観であり、本事業内容は景観保全及び向上に効果的です。 補助金を活用している団体が市原市南部地域のみであるため、北部地域の類似団体に対する周知が必要となります。 より使いやすく、効果的な事業になるよう、令和4年度に要綱改正を行います。 									
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<ul style="list-style-type: none"> 南山城村観光振興事業補助金 町内の団体や企業に対し、観光資源の発掘及び観光地の環境美化、観光イベントの実施などを補助しています。 									
特記事項											

令和4年度

施策番号	実行計画番号	アクションプランID	点検日	会場
1-6	2010033	-		

事業シート（概要説明書）

事務事業名	アート×ミックスを核とした地域活性化事業			事業期間	平成26年度～		
総合計画施策名	1-6 地域資源を活用した観光まちづくり			担当部	地方創生部		
事務区分	自主的自治事務	<input type="radio"/>	義務的自治事務	<input type="checkbox"/>	法定受託事務	課・係	地方創生課 文化芸術振興係
SDGsの区分	経済	<input type="radio"/>	社会	<input type="radio"/>	環境	作成担当者	
根拠法令等	房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2020 基本計画						
実施の背景	本市の南部地域は人口減少・少子高齢化が急速に進み、美しい里山環境の維持や文化継承の担い手の減少が課題となっています。本市の伝統や歴史、人々の暮らしや記憶などをアートの力で顕在化し、地域住民が主体となったアートによるまちづくりを継続、推進する機運の醸成など、継続的な地域活性化の核として「いちはらアート×ミックス」を実施します。						
目的 (何をどうしたいのか)	第3回目となる今回の芸術祭では、継続開催することにより、まちづくりの手法としての普遍化、「アートのまち いちはら」というブランドイメージの定着化を図るとともに、他のまちづくり施策との連携により、交流・関係人口の増加、将来的な移住・定住化につなげます。						
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	市民			対象者数（全住民に対する割合）		
					271,159 人	(100 %)	
	実施方法	直接実施	<input type="radio"/>	業務委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>
		委託先又は指定管理者					
		補助金(直接)	<input type="radio"/>	補助金(間接)	<input type="checkbox"/>	補助先	いちはらアート×ミックス実行委員会
		貸付	<input type="checkbox"/>	貸付先	いちはらアート×ミックス実行委員会		
その他	<input type="checkbox"/>	その他の内容					
令和3年度 事業内容（手段、手法、金額を含めた予算の執行内容など）							
<p>市の南部地域の里山を舞台に開催してきた芸術祭を、市の北部地域にある小湊鉄道五井駅をゲートウェイとし、開催エリアを拡大します。合計9つのエリア（五井、牛久、高滝、平三、里見、月崎・田淵、月出、白鳥、養老溪谷）で里山や廃校、空き家を舞台に質の高い現代アート作品を展開することで、市内全域での文化芸術の振興を図ります。</p> <p>また、駅舎群等が国登録有形文化財である小湊鉄道から着想を得た作品などを制作し、小湊鉄道五井駅から養老溪谷駅までの17駅全ての駅舎に作品を設置する「駅舎プロジェクト」を展開。駅名や、駅のある地名、歴史にちなんだ作品を展開することで、日本特有の鉄道文化の発信や地域住民の土地や守り伝えてきた文化への愛着と誇りの創生図ります。</p>							
関連事業 (同一目的事業等)							

事業シート（概要説明書）

<p>主な予算事業名 アートを活用した観光地づくり事業</p>										
コスト	会計・科目	会計 一般会計		款 7 商工費		項 1 商工費		目 4 観光費		
	[単位：千円]	令和4年度(予算)		令和3年度(決算)		令和2年度(決算)		令和元年度(決算)		
	合計	42,501		153,499		120,965		270,563		
	内 訳	負担金補助及び交付金	22,762		147,980		117,606		268,350	
		委託料	12,890		3,400		1,504		1,305	
		需用費	5,096		1,644		1,314		217	
		旅費	218		193		252		372	
		その他	1,535		282		289		319	
	人件費	合計	3 人 22,500		10 人 75,000		10 人 75,000		10 人 75,000	
		正職員	3 人 22,500		10 人 75,000		10 人 75,000		10 人 75,000	
会計年度任用職員等		人		人		人		人		
総事業費	65,001		228,499		195,965		345,563			
財源内訳	合計	65,001		228,499		195,965		345,563		
	国県支出金	7,945		49,694		34,542		17,000		
		国県支出金の内容		文化芸術振興費補助金(国費)、地方創生推進交付金(国費)、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(国費)						
	地方債									
	その他特財	11,313		18,572		29,742		35,478		
		その他特財の内容		観光まちづくり基金繰入金、光熱水費等負担金、観光推進事業寄附金						
一般財源	45,743		160,233		131,681		293,085			
事業実績及び成果	【指標名】（実績値/目標値）					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	事業実績	①	アートイベント(芸術祭・継続イベント)の来場者数		人	110,354 / 150,000	0 / 0	0/30,509		
		②				/	/	/		
		③				/	/	/		
	単位当たりコスト	総事業費	/	①	千円	2	0	4		
	事業成果						/	/	/	
							/	/	/	
事業成果設定理由等										
総合計画指標	【指標名】（実績値/目標値）					単位	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	実績指標	市内の観光施設やイベントを訪れた市民の割合		%	54 / 80	46.2 / 80.0	61.2 / 80.0			
		成果指標 主に関係する 施策の指標	小湊鐵道利用客数(1日フリー乗車券、房総横断鐵道乗車券、観光列車乗車人数の合計)		万人	4.8 / 8	3.6/8	4.3/8		
						/	/	/		
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)		<p>第3回を迎えたアート×ミックスは、過去2回の成果と課題を踏まえ、「魅力的なアート作品」と「地域住民の参加」による、さらに進化した芸術祭を目指しました。</p> <p>過去最大、11万人を超える方々に来場いただき、現代アートの鑑賞と合わせて、美しい里山の風景や地域をあげての温かいおもてなしなど、本市の魅力をアピールすることができた。また、会期中は徹底した感染防止対策を行い、来場者、関係者ともに一人の感染者も出すことなく終えることができました。</p> <p>今後は「アートを日常的に感じられるまちづくり」に取り組むとともに、継続的な芸術祭の開催に向けては、更なる広域連携やより広範な民間企業の参画等について検討します。</p>								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)		<p>【他自治体での類似事業】</p> <p>○北アルプス国際芸術祭（長野県大町市）</p> <p>本市と同様にトリエンナーレ方式を取っている芸術祭。</p> <p>《開催日程》令和2年5月31日(日)～7月19日(日)計50日間《事業費》平成31年度 73,000千円(うち市負担金：54,500千円) 令和2年度 214,000千円(うち市負担金：125,500千円)</p>								
特記事項										